2027年度　川崎市立川崎病院　（病床数　７１３床）【1年次】

受入人数	【1年次】４名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
会計年度任用職員	年額600万円程度（時間外手当等を含む、変動あり）		有		有	有	8：30～17：15	10		5	12/29～1/3	４回程度	有（単身用）（入居の可否は空室状況による）	健康保険、雇用保険、厚生年金、労働災害補償有

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	必修期間にあたる24週間にわたり内科領域を幅広く研修します。基礎的診断治療のための技能の修得に加えて、プライマリ・ケア診療に必要な診断・治療・指導の考え方を身につけることを重視した研修を行っています。呼吸器・循環器・消化器・神経・糖尿病内分泌・感染・腎臓・リウマチ・病態栄養等の部門ごとに専門医がいます。多彩な疾患について豊富な経験を積むことができるでしょう。 入職の初月にあたる4月には、1カ月間にわたり充実した導入研修を用意しています。 病棟診療の指導医は4～5週間単位で交代となり、それぞれの指導医からマンツーマンで教育を受けます。 日本内科学会の地方会には毎月演題を発表しており、臨床研修医に発表のチャンスが与えられます。
救急科	必修期間にあたる12週間の救急科研修を経験することができます。当院の救急科の機能・診療・教育体制は以下の通りです。 1. 機能: 厚生労働省の救命救急センター認定であり、1次～3次救急に幅広く対応します。 2. 実績: 年間約20,000人の救急患者（うち救急搬送約7,000人） 3. 診療・指導体制: 救命センター併設型ER方式を採用した2交替制シフト勤務です。 4. 指導は屋根瓦方式であり、安心できる体制で上級医と業務を組んでいます。
外科	必修期間を超える12週間の外科研修を経験することができます。指導医とマンツーマンで症例を受け持ち、術前処置や検査、手術助手、術後管理を学びます。月替わりで指導医を変更してさまざまな臓器に対する手術を経験することも、もしくは1つの臓器に特化して3ヶ月研修することもできます。手術日（月・水・金曜日）は担当の指導医の手術がなくても、原則他の指導医の手術に助手として参加できます。臨床研修医が実際に経験できる代表的な手技は、CVカテーテルの挿入などの周術期処置および手術時の皮膚縫合などがあります。
小児科	2年目に慶應義塾大学病院で研修。
産婦人科	2年目に慶應義塾大学病院で研修。
精神科	2年目に慶應義塾大学病院で研修。
一般外来	※ 内科研修における並行研修として実施しています。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科：

当院では「内科」（24週間）、「救急科」（12週間）、「外科」（12週間）の3診療科の研修のみお受けしています。

○研修アピール

当院の臨床研修制度は昭和42年に発足し、昭和51年からはスーパーローテート方式を導入するなど時代に先がけた研修制度の充実を図ってきました。これまで初期研修医の採用者数は約500名を数えます。新初期臨床研修制度の下でも内科・外科・麻酔科・救急の基本科目はもとより、スタッフが充実している小児科・産婦人科、救急研修も可能な精神科、その他ほとんどの選択科研修が可能という理想的な臨床研修病院としての評価をいただいております（慶應義塾大学との地域−大学循環プログラムでは、「内科」、「救急科」、「外科」の3診療科の研修のみお受けしています）。特に、入職時の手厚いオリエンテーションは大変好評です。医師臨床研修マッチングでは、毎年希望者数・定員充足率ともに高い人気となっており、2026年度はプログラム別ランキングで希望者・定員充足率ともに、全国第１位でした。市立川崎病院採用の研修医とも仲良く、分け隔てなく、明るい雰囲気で充実した研修を送ることができます。

【当院の研修プログラムについて】

1年次の最初の4週間（4月）は、全員が内科で研修を行います（総合学習）。
4月の最終週以降は地域大学循環コースの方は内科5か月、外科3か月、救急3か月をローテートします。

○臨床研修医からのメッセージ

当院は、病床数713床と大学病院並みの規模であり、地域の中核病院として根付いています。研修病院としても大変に人気が高い病院です。現在、川崎病院直接採用で採用される研修医は1学年10名で、慶應義塾大学病院地域−大学循環プログラムで採用された4名と一緒になって、仲良く研修しています。雰囲気の良さは抜群です。

全科医師の医局が1つのフロアにあり、普段から他科との連携が取りやすい環境にあります。例え他科研修中であっても手技を行う機会があれば、声をかけていただき経験することができ、熱意があれば診療科の枠を越えて幅広い経験を積むことができる環境だと思います。

医局には臨床研修医専用の部屋もあり、研修医一人ずつに机が用意されています。業務においては、他院でよく耳にするような、日常業務に追われて勉学に支障をきたす事はありません。自分で勉強をしたり、上級医とディスカッションしたりする時間が充分にあります。また、各研修医にメンターと呼ばれる上級医が付き、研修医の状況に応じたきめ細かい指導やアドバイスを受けることができます。研修医主体の勉強会も度々開催され、和気あいあいとした雰囲気の中でモチベーションを高めています。

是非、川崎市立川崎病院での研修を考えてみてください（合同見学会でプログラムの詳細を解説）。
臨床研修医一同、お待ちしております。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項

・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者：　津村　和大（教育指導部長）

※問い合わせ先

担当部署・担当者名：　事務局庶務課・五十嵐　久美子

住所：　川崎市川崎区新川通１２－１

TEL：　０４４－２３３－５５２１（代）

E-mail：　83kawent@city.kawasaki.jp